



〒300-3253 茨城県つくば市大曾根3765-4 TEL&FAX029-895-3775
yoshonencamp@mail2.accsnet.ne.jp http://www2.accsnet.ne.jp/~yoshonencamp/

FORE WORD

未曾有の大災害から1ヶ月が経ちました。今なお、余震が続き、あのときの恐怖がよみがえる時があります。また、福島原発も解決の糸口がまだ見えず、放射能の恐怖から完全に解放されていません。この1ヶ月の間、当研究会では、冬の最大の行事であるつまごいスキーキャンプを中止しました。また、3月末までに広報しなければならぬ、春のゆめキャンプを、つまごいスキーキャンプを中止していながら、その判断とほぼ同時期に開催の通知を気持ちよく出すことはできませんでした。つまり、夏まで子どもたちを対象とした事業は、なくなってしまいました。これにより、一年間キャンプを楽しみにしていたキャンパーたちにはもちろん、キャンプに向けて準備してきたスタッフのみなさんの貴重な経験の場を喪失し、研究会にとっては、心にぽっかりと穴が空いてしまった思いです。

その間、社会の動きはどうでしょうか。私は、日本登山医学会という学会に入っていますが、会員の多くは医師で、つまり野外の医師の集まりです。地震直後から、現地に会員が何人も駆け付け、地震直後の多くの命をすくってきました。また、各種スポーツ界や芸能界は、チャリティイベントを開催し、日赤だけでも義援金が1,113億円集まっています。キャンプの民間団体である日本アウトドアネットワークの会員も現地の会員と連携し、ボランティアとして活躍しました。一方、当研究会や、関係の深い日本野外教育学会、日本キャンプ協会に、力強い動きはありませんでした。いや何もできませんでした。

医師は医療、スポーツ選手は懸命なプレー、お笑いタレントはお笑い、日本中のみんなが、自分たちのできることで、日本を元気づけています。私たちは「キャンプ」を通じて、「元気」を与えたい気持ちはあるのですが、今社会はそれを受け入れる状態ではなく、我々の無力さを感じずにはいられない日々でした。

今、日本の在り方が大きな転機にさしかかっていると思います。日本の発展のスピードは、国土の自前の資源では追いつかず、持ち前のテクノロジー（原発）で、その発展を支えてきました。しかし、今度はそのテクノロジーが、我々の生命を脅かす存在となっていました。命を育むために命を削る。実は、今日本はそんな危うい綱渡りをしているのだなと気付きました。

東電により電気の供給不足により、関東を中心に節電の生活が続いています。これはもともと電気の消費量の少ない我が家だからかも知れませんが、何か日常生活でこまっていますか？企業もここに来てはじめて節電のために、蓄電、輪番営業等の対策を始めました。でもこれって、当たり前のことだったのではないのでしょうか。

いつか、社会が落ち着いて、また我々のキャンプが必要とされる日が必ずきます。しかしながら、そこで一緒に自分たちのキャンプが、本当にこれからの日本に必要な姿なのか考えましょう。花山は、その答えと一緒に考えてくれて、我々に教えてくれると思います。

REPORTS

〇3 月役員会報告

今後変更もありますが、以下の内

容で決定しました。

1. 月例会スケジュール及び議題内容

- ・ 4/24 ASE
- 5/8 プログラム企画論
スキルトレーニング
- 6/26 登山計画・ナビゲーションスキル(終日の予定)
- 7/24 リスクマネジメント
レスキュートレーニング

2. つまごいスキーキャンプに伴う研修会開催について

3. メーリングリストについて

- ・ うまく機能していないと言

う意見がでましたので、広報係が調整することになりました。何か質問等ありましたら、中川までご連絡下さい。(s0812009@u.tsukuba.ac.jp)

4. ホームページについて

今後、ホームページ作成隊を結成して作成していく予定です。

〇3 月月例会報告

1. つまごいスキーキャンプ中止の経緯&背景
2. 「あなたならどうする？」

今回のつまごいスキーキャンプは様々な理由により中止になりました。開催するか中止にするか、キャンプ企画者はどちらか決断しなくてはなりません。その判断をどうするのか、今回は以下の4つの異なった状況を想定して議論しました。

<実際の状況>

- ・ 直接的要因

- 1, 3月11日(2週間前)
- 2, 東北沿岸
- 3, 死者・行方不明者2万人以上 避難者35万人
- 4, キャンパー及び家族に死者なし・生活復興
- ・間接的要因
- 5, パルコール営業終了(湯ノ丸高原で代替)
- 6, 鉄道の運休(バス輸送で代替)
- 7, 原発事故の未解決
- 8, 計画停電の実施

① ふゆりん&りょうペア

- 1, 2ヶ月前
 - 7, 原発解決
 - 9, 計画停電終了
- 開催する
- ・余震や原発も心配なく、移動手段共に代替案があるため、安全・キャンプの質が確保できるため
 - ・楽しみにしているキャンパーがいる
 - ・被災したキャンパーに楽しい思い出を提供したい

指摘・2ヶ月前でも余震が無いとは限らないので、根拠のない情報は絶対言わない。

② にくまん・岡ちゃんペア

- 2, 東海地方
- 5, パルコール営業
- 6, 鉄道運行
- 7, 浜岡原発での事故、未解決
- 8, 中部電力で計画停電実施

- 開催する
- ・身近に被害なし
 - ・宿泊、交通手段問題なし
 - ・原発・震源から距離があり安全
 - ・こんな時こそ、子どもに元気を!!
 - ・キャンセル料は値下げする

指摘・災害の時、キャンセル料とるのは・・・

③ やむ・りくペア

- 3, 死者5名、避難者500人
- 開催する
- ・活動場所・交通手段共に代替可
 - ・原発も距離があり、安全
 - ・計画停電の影響はプログラムにはない
 - ・死者の数が多くても少なくとも開催する

指摘死者の数をどう考慮していくか?

④ ベーベ・えのっきー・よっちゃん

- 1, 2ヶ月前
 - 4, キャンパーの家族に死者あり(つまごい不参加)
 - 5, 6, 再開
 - 7, 8, 解決&終了
- 開催する
- ・2ヶ月前で復興に向けて動き出している

- ・間接的要因が解決済みで安全面・体験の質も確保できる
- ・自然のいろんな面(恐怖や美しさ)を教えてあげるため、自然が怖いままでいてほしい
- ・死者の情報はあえてキャンプ参加者に知らせない
- ・被災されたご家族には手紙を送る

指摘・被災されたご家族の情報を隠すのは団体の信用をなくす原因にもなる

- ・義援金を募ったほうがいい(被害の大小で義援金を出す時と出さない時を決めていいのか)

3, 雪崩レスキューのスキルトレーニング

雪崩レスキュー三種の神器の使い方を学びました。

- ・ビーコン
送信モード・受信モードの確認をしっかり行うこと。
- ・ゾンデ(プループ)
- ・スコップ(ショベル)

4, ワンポットミル対決

3グループが同じ材料でガスの消費量・オリジナル性・味・グループの協力性・調理中の綺麗さ・見た目と評価し、対決しました。出来映えがよければ、花山で採用☆というすばらしい名誉が与えられるはずでしたが・・・結果、途中から参戦したばく&ほっち(ばくさんの娘)ペアが圧勝し、花山メニューの夢はどのグループも手にすることはできませんでした。

<感想>

キャンパー・カウンセラー共に楽しみにしていたつまごいスキーキャンプがなくなってしまい残念ではありましたが、私自身はいいい経験になったのかもしれないと思っています。それは災害が起こった場合、どうすればいいのか真剣に考えることができたからです。様々な状況でどうすればいいのか議論した際、こんなにも決断することは難しいのだと感じました。

いのだと感じました。

雪崩レスキューも土の上でのシュミレーションだったにも関わらず、焦ってしまいうまく行動できませんでした。改めて、野外活動というものがどれだけ『命』に関係してくる活動かを知らされる今回の月例会でした。(よっちゃん)

○第2回 CU 研修会 IN 苗場

3月28日□29日の2日間、神楽峰、平標山周辺にてバックカントリー研修会を開催しました。CUからは(左上から)利空、やむ、シノケン、ワコー、ばく、ふゆりん、亮、よっちゃんが参加しました。

両日ともに天候に恵まれ、最高の景色を眺めながらの活動となりました。ビーコンの使い方から始まり、順番にリーダーとなって参加者をナビゲートしたり、夜には翌日のルートプランニングを個人で行うなど、



全員が「人を連れて山に入る」意識を持ちつつ楽しむことが出来ました。

詳細は幼少年キャンプ研究会 HP で見れるべく特製ムービーや、カウンセラーユニオンブログで紹介しています！

○花山キャンプ場被災状況確認に行ってきました
急遽、ばくさんとよっちんで花山キャンプ場の様子を見てきました。どうなっているのか心配でドキドキしながら花山に到着しましたが、「あれっ？」と驚くほど、明るい花山のままでした!!地震があったのかと思ってしまうほど、街並みも花山の方々も元気でした。
詳しい状況報告は CU の HP をご覧ください。

NEWS BRIEFS

○月例会内容企画の募集

前期の月例会企画内容は3月の月例会で決定しましたが、要望内容によって変更も可能です。後期の企画にも反映していきたいので、「これがやりたい!」という内容がありましたら、気軽に要望を以下の宛先へお送り下さい。

宛先: s0810697@u.tsukuba.ac.jp (佐藤冬果)

○幼少年キャンプ研究会 & CU の HP 作成隊募集

一度、事務所で勉強会を開催してHPを作成していく予定です。HP作成に興味がある方、パソコン操作が得意な方、以下の宛先までご連絡下さい。

宛先: s0812009@u.tsukuba.ac.jp (中川佳美)

○CU 写真共有サイト開設☆

フォトゲット

<https://photoget.jp>

※ID、パスワード等はメール本文の方に記載されています。

研修会等で撮影した写真などがありましたら、アップデートしてってください。

○CU ブログ開設☆

幼少研のHPの仮公開を開始しました。

ムービーやフォトゲット等にも繋がっていますので、そちらもご覧ください。

内容をご精査の上ご意見をいただけたらと思います。

www2.accsnet.ne.jp/~yoshonencamp

PROFESSIONAL OPPORTUNITIES

○2011 年 4 月月例会

4 月月例会を次の通り開催します。

日時: 2011 年 4 月 24 日 (日) 13:00~18:00

場所: 幼少年キャンプ研究会事務局

(つくば市大曾根 3765-4/つくバス北部シャトル大穂庁舎下車徒歩 5 分)

内容: ASE の設置・体験・撤収等

出欠: 4 月 17 日 (水) までに佐藤冬果 (080-1211-8971 /fuyu-sato.0103@docomo.ne.jp) に必ず出欠の連絡を

して下さい。

○今後の月例会・研修合宿の予定

・5 月月例会

5 月 15 日 (日) を予定しております。

(花山キャンプの発送の都合により、3 月月例会の報告より日程が変更になりました)

・6 月月例会

6 月 26 日 (日) を予定しております。

・7 月月例会

7 月 24 日 (日) を予定しております。

・第 3 回バックカントリースキー研修合宿

目的: バックカントリースキーの向上

雪上レスキューの体験

日程: 2011 年 4 月 29 日 (金祝) ~5 月 1 日 (日)

主催: 幼少年キャンプ研究会カウンセラーユニオン

場所: 山形県月山周辺

宿泊: 志津キャンプ場 (テント泊)

対象: CU 会員、その友人

内容: バックカントリースキー

雪山レスキュー

ルートファインディング

雪中泊

※スキー場で滑ることもできます!!

予定: 1 日目 移動、環境整備 & 雪山レスキュー

2 日目 バックカントリー

3 日目 バックカントリースキー、移動

集合場所・時間: 29 日 12:30 に志津キャンプ場

※交通手段はバス (山交バス)・電車がありますので、各自選択して集合場所に来て下さい。バスの最終停留所に 12:00 にピックアップに行きます。また、つくば組は人数によっては車で行ける可能性がありますので、問い合わせして下さい。

参加費: 5000 円程度 (食費、保険料等) ※交通費別
持ち物: ザック (35ℓ 45ℓ リットル)、スキー一式 (板、ブーツ、ストック)、スキーアクセサリ一式 (帽子、サングラス、手袋等)、水筒、防寒着、雨具、ヘッドランプ、その他生活用品

※ザック等の装備に関してはレンタルの相談に乗ります。1 アイテム 500 円でのレンタルが可能です。

締切日: 4 月 23 日 (日)

お問い合わせ: 中川佳美 (よっちゃん)

(080-3660-5841、s0812009@u.tsukuba.ac.jp)

・第 4 回花山山菜温泉ツアー

目的: 春の里山を楽しむためのスキル向上

バックカントリースキースキル向上

参加者同士の交流

夏の花山キャンプに向けての準備

主催: 幼少年キャンプ研究会カウンセラーユニオン

日程: 5 月 3 日 (火祝) ~5 月 5 日 (木祝)

対象: CU 会員、その家族、友人

集合場所・時間:

・3 日のできるだけ早い時間に花山キャンプ場

※5 月 2 日の夜に東京発古川行 (7 時頃到着) の高速バスがあります。それに乗られる方は、連絡して

頂けたら古川駅まで迎えにいきます。

※高速バスはGWの為早めの予約をお願いします。

活動場所: 花山キャンプ場周辺

内容: 山菜狩り、栗駒山バックカントリースキー、キャンプ場整備

予定: 1日目 山菜狩り、山菜パーティー

2日目 栗駒山バックカントリースキー

3日目 山菜狩り、環境整備、移動

宿泊場所: 花山キャンプ場

※希望者には、近隣の宿を紹介します。申込時に宿の希望がある方は申し出て下さい。

参加費: 3000円(食費、保険料等)

※交通費別

※CU会員以外の方の参加は、キャンプ場利用費として500円頂きます。

※宿に宿泊した場合の宿泊費別

持ち物: ザック(35ℓ 45ℓ リットル)、スキー一式(板、ブーツ、ストック)、スキーアクセサリ一式(帽子、サングラス、手袋等)、水筒、防寒着、雨具、ヘッドランプ、その他生活用品

※ザック等の装備に関してはレンタルの相談に乗ります。1アイテム500円でのレンタルが可能です。

締切日: 4月23日(日)

問い合わせ: 佐藤冬果

(080-1211-8971、fuyu-sato.0103@docomo.ne.jp)

・東京YWCAリーダーストレーニング

日時: 6月11日(土)・12日(日)

場所: 東京国立オリンピック記念総合センター

対象: 東京YWCA学生リーダー

主として大学1～3年生のキャンプリーダー(カウンセラー)です。一部の参加者はある程度の指導経験を持します。

内容: ASE指導及び指導法のファシリテーション
野外救急法及び救急法トレーニングのファシリテーション

指導: 岡村泰斗(主任)

募集: 補助講師1名

大学生以上、CUもしくは大学等の活動で、ASE、野外レスキュー等の学習・実践経験があるもの。

謝礼: あり

締切日: 5月月例会まで

お問い合わせ: 岡村泰斗 taito@mail2.accsnet.ne.jp

○書籍紹介

【キャンプカウンセリング】

A.V ミッチェル、I.B クロフォード共著／兼松保一訳
ベースボール・マガジン社

342ページにもなる、分厚い本。初版が1966年と古書レベルの古さですが、キャンプの歴史、キャンプカウンセラーとは何か、キャンパーについて、プログラムについて等、何でも載っている1冊です。また、章の始めにキャンプに関わる詩が載っていて、それもまた、キャンプに対して想いを馳せる素敵なきっかけになるのではないのでしょうか。

...という紹介を書き終わった後に、古さ故に入手困難という現実を知りました。しかし、置いてある図書館

もあるようです。見かけたら、手に取ってみて下さい。ふゆりんレンタルも可能です。

せっくなので、1ページ目に載っているお気に入り詩を紹介します。

オールド・キャンパーへ

年老いてもきっと思う
遠く去ったキャンプの日々
心によみがえる
たき火の煙のにおい
消えかかる夜明けのたき火
そして、迷い歩いた山道

いつか大人になり
広く世の中を知っても
いつもよみがえる
遠い日の思い出
ひざつき合わせて語った友の
楽しい笑顔

やがて住む
町いちばんの立派な場所に
だが、いつか背広を脱いで
キャンプ服に着替えるだろう
そして、夜空の星を仰ぎ
丸太のベッドで寝るだろう

大きくなって金持ちになり
何でも買える身分になっても
しばし、何ごととも忘れて
野外に出て過ごすだろう
太陽の輝く水辺
雲の漂う空の下で

一度でもキャンパーだったなら
心の底に永遠に
何かがついて離れない
たとえおとなになろうとも
忘れられない思い出は
楽しく遊んだキャンプの日々

メアリー・S・イトガー

FROM
THE
EDITOR

初めてニュースレターの作成を試みてみたよっちゃんです。ちょうど1年前のつまごいスキーキャンプが、私の初めての野外活動でした。去年の今頃はこんなにはまっているとは思っていなかった幼少研の活動でしたが、CUの仲間との活動が今や私の心地よい居場所となっています。皆さんにもそんな居場所となるよう副代表兼広報担当として頑張っていきます。ちなみに広報担当ですが、文章力がないため、よく添削されています・・・。(よっちゃん)